（別記）

2021年度北斗市農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

１　地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

経営形態は、水稲と畑作、水稲と施設園芸が中心となっているが、畑作・施設園芸単独の経営も増加している。

担い手の多い地域においては徐々に農地の集積が進んでいるが、担い手不足の地域での高齢化による離農跡地の遊休農地化等が目立ってきている現状がある。地域の水田生産力維持のため、水田をフル活用しながら担い手への農地集積を積極的に推進していく必要がある。

そのほか、当市では様々な野菜及び花卉や大豆等の畑作物の作付も行われており、幅広く支援を行っていくことが必要である。

２　高収益作物の導入や転作作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

当市では現在、高収益作物・転換作物の推進するために飼料用米への転換、小麦・大豆への転換を促しています。転換を促すとともに収益性・付加価値の向上に努めていくために水田農業高収益化推進計画の作成を検討していく必要がある。しかし現状では作成に向けて取り組んでいる経過はないため、まずは関係機関と連携を図っていく。また、近年輸出への取組が必要となってきますが当市の農産物は農業協同組合に出荷するケースが多いため、輸出を行っていません。そのため、今後は農業協同組合を通して輸出を行える環境づくりも行う必要がある。

３　畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

畑地化については関係団体と協議を進めていますが、現時点では畑地化してしまうと農地としての価値が下がる、改良区の賦課金１０年分を一括支払いが生じるなどリスクもあるため直近年度での取組は考えていません。しかし、当市においても農業者の高齢化が進んできている状況のため、５年後１０年後に向けては関係団体と畑地化について協議を進めて行く必要がある。

４　作物ごとの取組方針等

市内の約2,300ha（不作付け地含む）の水田について、産地交付金を有効に活用しながら、作物生産の維持・拡大を図る。

（１）主食用米

米の直接支払い交付金が廃止となったが、北海道が示す生産の目安を遵守するよう呼びかけ、適正な土壌診断及び適期播種、移植、施肥管理等を実施し、需要に応じて安定供給できる「売れるコメづくり」を目指す。

（２）備蓄米

需要に応じて生産する。

（３）非主食用米

ア　飼料用米
需要に応じて生産する。

イ　米粉用米
需要に応じて生産する。

ウ　新市場開拓用米
需要に応じて生産する。

エ　WCS 用稲
需要に応じて生産する。

オ　加工用米
産地交付金を活用し、交付金の対象外となった主食用米に代わる主力の転作作物として位置づける。また、直播、密苗栽培によりコスト削減を図りつつ、水稲作付面積の維持・拡大を推進していく。

（４）麦、大豆、飼料作物
麦・大豆・飼料作物については、他の土地利用型作物との適正な輪作を行いながら作付を維持・拡大していく。また、飼料作物については担い手に対して加算を行い、規模拡大意欲を向上させ、今後の農地の集約化を目指していく。特に大豆については、弾丸暗渠等の排水対策を積極的に行い、品質の向上を目指す。

（５）そば、なたね
そばについては、地域の実需者との契約に基づき、排水対策等の基本技術を徹底し、安定供給を目指しつつ作付面積を維持・拡大する。

（６）高収益作物（園芸作物等）
以下の作物を振興作物として、作付面積の維持・拡大を図る。
「長いも」、「とうもろこし」、「なす」、「かぼちゃ」、「枝豆」、「ほうれん草」、「白菜」、「人参」、「ﾚﾀｽ」、「ｱｽﾊﾟﾗ」、「みつば」、「ささぎ」、「小松菜」、「水菜」、「ごぼう」、「春菊」、「みょうが」、「ｻﾔｴﾝﾄﾞｳ」、「大根」、「ﾌﾞﾛｯｺﾘｰ」、「ばれいしょ（生食・加工）」、「ｷｬﾍﾞﾂ」、「玉ﾈｷﾞ」、「山芋」、「さつまいも」、「ﾋﾟｰﾏﾝ」、「ﾊﾟｾﾘ」、「ｶﾌﾞ」、「小豆」、「ﾄﾏﾄ」、「きゅうり」、「ﾊｳｽねぎ」、「露地ﾈｷﾞ」、「いちご」、「ｳﾄﾞ」、「ｶｰﾈｰｼｮﾝ」、「ﾄﾙｺｷﾞｷｮｳ」、「ｱﾙｹﾐﾗ」、「ﾕﾘ」、「ｿﾘﾀﾞｺﾞ」、「ﾋﾏﾜﾘ」、「ｱｽﾄﾗﾝﾁｱ」、「ｷｸ」、「ｷｷｮｳ」、「ﾋﾒﾋﾏﾜﾘ」、「ﾊﾟﾝｼﾞｰ」、「ﾂﾂｼﾞ」、「ｱﾙｽﾄﾛﾒﾘｱ」、「ｻﾝﾀﾞｰｿﾆｱ」、「ｼｬｸﾅｹﾞ」、「ｻﾂｷ」、「ｱｻﾞﾘｱ」、「ﾜﾚﾓｺｳ」、「ｶﾗﾏﾂ」、「ﾄﾄﾞﾏﾂ」、「ｽｷﾞ」、「桜」、「ｲﾁｲ」

（７）不作付地の解消
現行の不作付け地について、農業委員会や農地中間管理機構等と連携をとり、担い手に集積することで解消する。

（８）耕畜連携
飼料作物への堆肥投入、飼料米の稲わら利用を推進し、耕畜連携を図る。

５　作物ごとの作付予定面積等

作物等	前年度作付面積等（ha）	当年度の作付予定面積等（ha）	令和５年度の作付目標面積等（ha）
主食用米	952.4	945.0	920.0
備蓄米	15.9	16.4	20.0
飼料用米	0	20.0	30.0
米粉用米	0	0	0
新市場開拓用米	0	10.0	20.0
WCS 用稲	0	0	0
加工用米	253.6	254.9	260.0
麦	49.3	61.6	70.0
大豆	121.0	136.6	145.0
飼料作物	349.9	401.0	403.0
・子実用とうもろこし	0	0	0
そば	96.6	97.0	99.0
なたね	0	0	0
高収益作物	220.2	251.6	267.8
・野菜	211.6	231.6	255.0
・花き・花木	6.9	16.5	7.8
・果樹	0	0	0
・その他の高収益作物	1.6	3.5	5.0
その他	0	0	0
・〇〇	0	0	0
畑地化	0	0	0

６　課題解決に向けた取組及び目標

整理番号	対象作物	使途名	目標	前年度（実績）	目標値
1	・野菜（トマト、キュウリ、ハウスネギ）	地域振興作物助成	作付面積	（2020 年度）54.0ha	（令和 5 年度）57.0ha
2	キュウリ	キュウリ作付拡大助成	作付面積	（2020 年度）1.5ha	（令和 5 年度）2.2ha
3	・野菜（長いも、とうもろこし、なす、かぼちゃ、枝豆、ほうれん草、白菜、人参、ﾚﾀｽ、ｱｽﾊﾟﾗ、みつば、ささぎ、小松菜、水菜、ごぼう、春菊、みょうが、ｻﾔｴﾝﾄﾞｳ、大根、ﾌﾞﾛｯｺﾘｰ、ばれいしょ（生食・加工）、ｷｬﾍﾞﾂ、玉ﾈｷﾞ、山芋、さつまいも、ﾋﾟｰﾏﾝ、ﾊﾟｾﾘ、カブ） ・穀類（小豆） ・露地花卉（ﾜﾚﾓｺｳ、ｷｸ、ｷｷｮｳ 、ﾋﾏﾜﾘ、ﾕﾘ、ｱﾙｽﾄﾛﾒﾘｱ、ｽｲｾﾝ、ﾊﾞﾗ、ﾂﾂｼﾞ） ・種苗（ｶﾗﾏﾂ、ﾄﾄﾞﾏﾂ、ｽｷﾞ、桜、ｲﾁｲ、サ	地域振興作物助成	作付面積	（2020 年度）73.0ha	（令和 5 年度）87.5ha

	ﾂｷ、ｱｻﾞﾘｱ、ﾌﾞﾅ）				
4	・野菜（いちご､ｳﾄﾞ） ・施設花卉（ｶｰﾈｰｼｮﾝ､ﾄﾙｺｷﾞｷｮｳ､ｱﾙｹﾐﾗ､ﾕﾘ､ｿﾘﾀﾞｺﾞ、ﾋﾏﾜﾘ､ｱｽﾄﾗﾝﾁｱ､ｷｸ､ｷｷｮｳ､ﾋﾒﾋﾏﾜﾘ､ﾊﾟﾝｼﾞｰ､ﾂﾂｼﾞ、ｱﾙｽﾄﾛﾒﾘｱ、ｻﾝﾀﾞｰｿﾆｱ、ｼｬｸﾅｹﾞ、ｻﾂｷ、ｱｾﾞﾘｱ）	地域振興作物助成	作付面積	（2020 年度）8.2ha	（令和 5 年度）15.5ha
5	・野菜（露地ねぎ）	地域振興作物助成	作付面積	（2020 年度）91.7ha	（令和 5 年度）97.5ha
6	飼料作物（ＷＣＳ用稲、飼料用米を除く）	飼料作物作付加算	作付面積 10a 当たり収量	（2020 年度）349.9ha （2020 年度）1.2t	（令和 5 年度）403.0ha （令和 5 年度）1.45t
7	露地ねぎ	露地ねぎ輪作加算	作付面積 規格品出荷比率	（2020 年度）13.5ha （2020 年度）67.6%	（令和 5 年度）35.5ha （令和 5 年度）73.9%
8	そば	そば作付助成	作付面積 10a 当たり収量	（2020 年度）96.6ha （2020 年度）57.6kg	（令和 5 年度）99.0ha （令和 5 年度）65.9Kg
9	飼料作物	耕畜連携	作付面積 取組面積	（2020 年度）349.9ha （2020 年度）4.1ha	（令和 5 年度）403.0ha （令和 5 年度）4.4ha
10	・野菜（長いも、とうもろこし、なす、かぼちゃ、枝豆、ほうれん草、白菜、人参、ﾚﾀｽ、ｱｽﾊﾟﾗ、みつば、ささぎ、小松菜、水菜、ごぼう、春菊、みょうが、ｻﾔｴﾝﾄﾞｳ、大根、ﾌﾞﾛｯｺﾘｰ、ばれいしょ（生食・加工）、ｷｬﾍﾞﾂ、玉ﾈｷﾞ、山芋、さつまいも、ﾋﾟｰﾏﾝ、ﾊﾟｾﾘ、ｶﾌﾞ、ﾄﾏﾄ、きゅうり、ﾊｳｽねぎ、露地ﾈｷﾞ、いちご、ｳﾄﾞ） ・花き（ｶｰﾈｰｼｮﾝ､ﾄﾙｺｷﾞｷｮｳ､ｱﾙｹﾐﾗ､ﾕﾘ､ｿﾘﾀﾞｺﾞ、ﾋﾏﾜﾘ､ｱｽﾄﾗﾝﾁｱ､ｷｸ､ｷｷｮｳ､ﾋﾒﾋﾏﾜﾘ､ﾊﾟﾝｼﾞｰ､ﾂﾂｼﾞ、ｱﾙｽﾄﾛﾒﾘｱ、ｻﾝﾀﾞｰｿﾆｱ、ｼｬｸﾅｹ、ｻﾂｷ、ｱｾﾞﾘｱ、ﾜﾚﾓｺｳ、ｽｲｾﾝ、ﾊﾞﾗ） ・種苗（ｶﾗﾏﾂ､ﾄﾄﾞﾏﾂ､ｽｷﾞ、桜、ｲﾁｲ、ｻﾂｷ、ｱｻﾞﾘｱ、ﾌﾞﾅ） ・穀類（小豆）	高収益作物等拡大加算	作付面積	（2020 年度）220.2ha	（令和 5 年度）225.0ha
11	・野菜（長いも、とうもろこし、なす、かぼちゃ、枝豆、ほうれん草、白菜、人参、ﾚﾀｽ、ｱｽﾊﾟﾗ、みつば、ささぎ、小松菜、水菜、ごぼう、春菊、みょうが、ｻﾔｴﾝﾄﾞｳ、大根、ﾌﾞﾛｯｺﾘｰ、ばれいしょ（生食・加工）、ｷｬﾍﾞﾂ、玉ﾈｷﾞ、山芋、さつまいも、ﾋﾟｰﾏﾝ、ﾊﾟｾﾘ、ｶﾌﾞ、ﾄﾏﾄ、きゅうり、ﾊｳｽねぎ、露地ﾈｷﾞ、いちご、ｳﾄﾞ） ・花き（ｶｰﾈｰｼｮﾝ､ﾄﾙｺｷﾞｷｮｳ､ｱﾙｹﾐﾗ､ﾕﾘ､ｿﾘﾀﾞｺﾞ、ﾋﾏﾜﾘ､ｱｽﾄﾗﾝﾁｱ､ｷｸ､ｷｷｮｳ､ﾋﾒ	転換作物拡大加算	作付面積	（2020 年度）1090.7ha	（令和 5 年度）1093.0ha

	ﾋﾏﾜﾘ、ﾊﾟﾝｼﾞｰ、ﾂﾂｼﾞ、ｱﾙｽﾄﾛﾒﾘｱ、ｻﾝﾀﾞｰｿﾆｱ、ｼｬｸﾅｹ、ｻﾂｷ、ｱｾﾞﾘｱ、ﾜﾚﾓｺｳ、ｽｲｾﾝ、ﾊﾞﾗ） ・種苗（ｶﾗﾏﾂ、ﾄﾄﾞﾏﾂ、ｽｷﾞ、桜、ｲﾁｲ、ｻﾂｷ、ｱｻﾞﾘｱ、ﾌﾞﾅ） ・穀類（小豆、大豆、小麦、そば） ・非主食用米（加工用米、飼料用米） ・飼料作物				
12	・新市場開拓用米	新市場開拓用米取組拡大助成	作付面積	（2020 年度）0.0ha	（令和 5 年度）20.0ha

※　必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。
※　目標期間は３年以内としてください。